

☆☆ Society of Japan Clinical Dentistry ☆☆

2014 年度 東京SJCDテクニシャンミーティング

拝啓

陽春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、来る7月6日に開催致しますテクニシャンミーティングにつきましてご連絡申し上げます。

本年は歯科医師と歯科技工士のコラボレーションをテーマに会員による症例発表とディスカッションを致したいと思っております。是非お付き合いの歯科医師、歯科技工士、また歯科衛生士をお誘い合わせのうえご参加頂けますようお願いいたします。

日時 2014年7月6日(日) 受付開始 9:30 / 開演 10:00~16:40

会場 お茶の水 ソラシティカンファレンスセンターRoom C (地図別紙参照)

参加費 東京SJCD会員無料

※クレジット機能付会員証を必ずご持参くださいますようお願いいたします。

当日参加ビジター Dr 30,000円 DT 15,000円 DH・DA 9,000円

10時00分~11時20分 (80min)

中野デンタルクリニック 松尾幸一先生/中野デンタルクリニック DT中村悠介

11時20分~11時30分 休憩 (10min)

11時30分~12時50分 (80min)

NAKANO DENTAL中野忠彦先生 / PUTFEEL DT清水健一郎

12時50分~13時50分 昼食 (60min)

13時50分~14時50分 (60min)

I. D. T. デンタル ラボラトリー DT 岩城譲二

14時50分~15時10分 休憩 (20min)

15時10分~16時30分 (80min)

内山歯科クリニック 内山徹哉 / Dent craft studio 間中道郎

-----16時30分閉会挨拶-----

中野デンタルクリニック 松尾幸一/中野デンタルクリニック DT中村悠介

「Information sharing」

日々の臨床において患者の満足を得るためには、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、歯科技工士、治療に携わるスタッフのチームアプローチが必要不可欠になると思います。特に審美領域や多数歯欠損補綴、治療期間も長くなる症例など、最終補綴物を製作するまでの過程でどれだけInformation sharingがなされているかが重要と考えます。Shareの解釈を「共有」では「分かち合い」と捉え、スタッフ全員が同じ情報、知識をもつ事は大変困難なため、専門知識を持った担当分野とのお互いが分かる事、分からない事を明確にしながらのコミュニケーションが大切だと思います。

今回、歯科医師松尾幸一先生と情報を分かち合いながら進めた症例を発表させていただきます。

中村悠介

略歴

2002年 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校卒業

2003年 マスターセラミストスクール デイコース修了

有限会社グランツテクニカ入社

2011年 医療法人社団幸友会中野デンタルクリニック勤務

2014年 にしむら塾7期 修了

東京SJCD会員

NAKANO DENTAL中野忠彦 / PUTFEEL DT清水健一郎

「Sequential treatment planning for anterior restorative patient. 」

抄録

今日の修復治療の成功の鍵となるのは診査、診断、治療の要を明確化することにある。それを実現するためには治療のガイドラインを整理し、それにのっとって治療を進めていくことである。今回、一患者に対して修復治療の基準とされているガイドラインを用いて分析を行った。その結果からトップダウントリートメントをコンセプトに治療計画を立案し、ドクター、テクニシャンで密なコミュニケーションをとり、共通認識の下、審美的、機能的結果を目指した。

DT 岩城譲二

1994年 日本歯科大学付属歯科専門学校 卒業

1996年 同専攻科鑄造床 卒業

2000年 I.D.T.デンタルラボラトリー開設

2003年 BPS 認定技工士取得

BPS 国際コンテスト 世界第1位受賞

ivoclar vivadent 社の BPS インストラクター

「歯科医師と目線を合わせる—BPSエスティックデンチャーと立ち会いの先に」

歯科医療において、患者さんを中心としたチーム医療が話題になっている。

歯科医師、歯科衛生士および歯科技工士がそれぞれの立場から患者さんに対し、最善の治療を構築することを目的としている。

とくに、補綴装置の作成において、歯科技工士からの製作提案は、患者さん満足度にかかなり重要なウエイトを占めるものと確信している。

しかしながら、歯科医師は歯科技工士の役割を十分に理解されてきているものの、製作技術料となると未だ値下げを求めてくる場合が多く見受けられる。

これは、我々の顧客が患者さんではなく歯科医師である証でもある。また、可撤性義歯に対し、勉強不足な先生あるいは義歯が苦手な先生にとっては、高度な歯科技工技術を反映させる必要がなければ、早くて安価な技工物でもなんら問題はないと思っているのであろう。

歯科技工士はレディーメイドではなくカスタムメイドの補綴装置を製作しているのであると自負している。私も開業して13年間経過してきたなかで、患者さんに満足して頂ける義歯とそうでない残念な義歯に分けられ、それは言い換える、義歯が得意な先生と不得意な先生がいるということである。とくに、総義歯のような多数歯欠損症例に関しては、その成功の確立が大きく違っている。総義歯において、装着時は良くても、咬合のチェックを定期的に行わなければ吸着も低下し、粘膜に痛みが生じてしまう恐れがある。痛みがあれば外せばいいが、多数歯欠損の補綴装置では歯根膜などの支えがあるため、すぐには気づかない場合も多く、その処置を怠ってしまえば支台装置の破損や歯根破折等が発生し、もし、支台装置が連結されていれば、その補修に大変な浪費を必要とすることになることも想像がつく。

演者は、普段からBPSシステムにおいて、印象採得から咬合調整まで「立ち会い」を行うようにしている。最近では、歯科技工士も医療チームの一環として、患者さんのメンテナンスにも「立ち会う」必要性を感じている。患者満足度が向上して先生との信頼関係が高まれば、全てがWin-Winに繋がっていくことを目指している。

そこで、普段の立ち会い方法について、簡単な動画を見せながら、解説を加えたさせて頂く。

内山徹哉

2004年東京歯科大学卒業

2010年内山歯科クリニック開設

間中道郎

2007年日本大学歯学部付属歯科技工学校卒業

2007年Dent craft studio 勤務

演題

客観性・予知性の高い審美修復を目指して

抄録

装着した補綴、修復物を、治療終了時からどれだけ長く機能させ続けられるか。それは歯科治療の再重要項目の一つである。

そして、この目標を達成させる為には、診査、診断の段階から治療に関わるスタッフがゴールを共有し、それぞれの立場から

議論を重ねる事が必要不可欠である。そこで今回は補綴物の制作ステップに的を絞って解説したい。

これを通じ、歯科医師と

歯科技工士が治療開始から最終補綴を見据えた診査・診断を行い、目標を具現化するために治療を行う事の意義が伝われば

幸いである。

sola city Conference Center

ソラシティ カンファレンスセンター

アクセスマップ

◆交通

JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」駅
聖橋口から 徒歩 1分

東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水」駅
B2 出口【直結】

東京メトロ丸ノ内線 「御茶ノ水」駅
出口1から 徒歩 4分

都営地下鉄 新宿線 「小川町」駅
B3 出口から 徒歩 6分



sola city Conference Center ソラシティ カンファレンスセンター

101-0062

かんだするがだい

東京都千代田区神田駿河台 4-6

御茶ノ水ソラシティ

電話：03-6206-4855 Fax：03-6206-4854

mail：info-cc@solacity.jp

- ◆sola city Hall ソラシティホール …2階
- ◆Terrace Room テラスルーム …2階
- ◆Room A, B, C, D …1階
- ◆Office (カンファレンス管理室) …1階

※お客様用の駐車場はご用意がございません。
ご来場の際は、公共交通機関をご利用くださいませ。